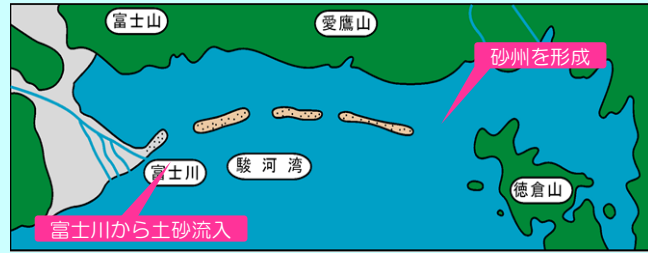


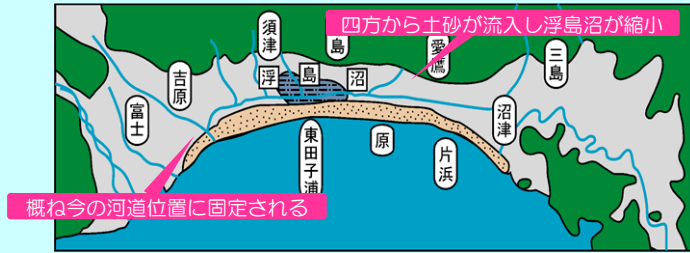
【流域の地形】

沖積世初期（約1万年以上前）、富士川・狩野川の運搬砂礫により沿岸砂礫州が形成され、愛鷹山麓との間に海跡湖状の潟湖が生じ、愛鷹山を刻む河川の堆積作用により浮島沼ができ、さらに埋積が進み浮島ヶ原になったとされています。

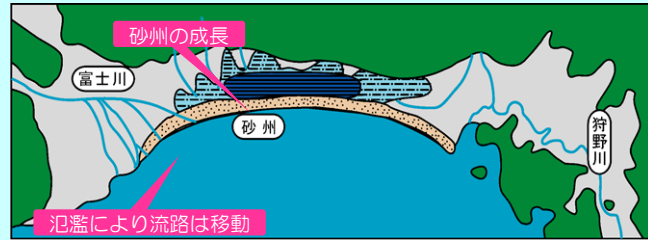
沖積世（約1万年以上前）



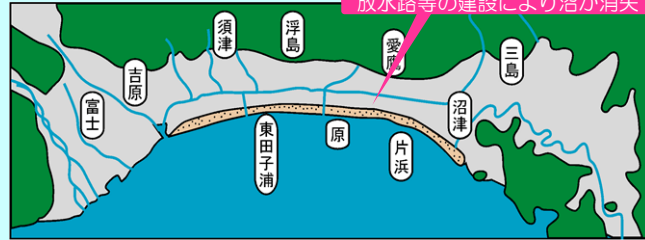
弥生時代中・後期～（約2000年前～）



縄文時代中・後期（約4000～5000年前）



現在

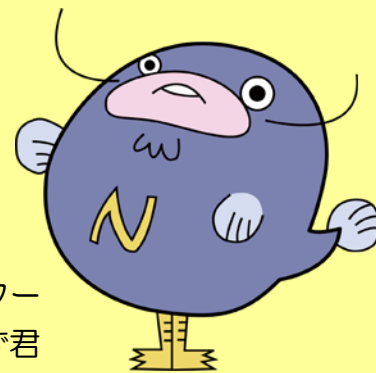


【事業の概要】

沼川新放水路（仮称）は高橋川と沼川上流部の洪水（ $Q=150\text{m}^3/\text{s}$ ）を直接、海へ放流します。これによって10年に1回程度発生すると想定される規模の洪水による家屋浸水被害を概ね解消することで安全・安心な地域づくりに寄与します。

【計画の概要】

河川名：沼川、高橋川、沼川新放水路（仮称）
 箇所：沼津市大塚地先～柳沢地先
 延長：2.3km
 計画高水流量： $Q=150\text{m}^3/\text{s}$
 事業期間：～2032年度（予定）

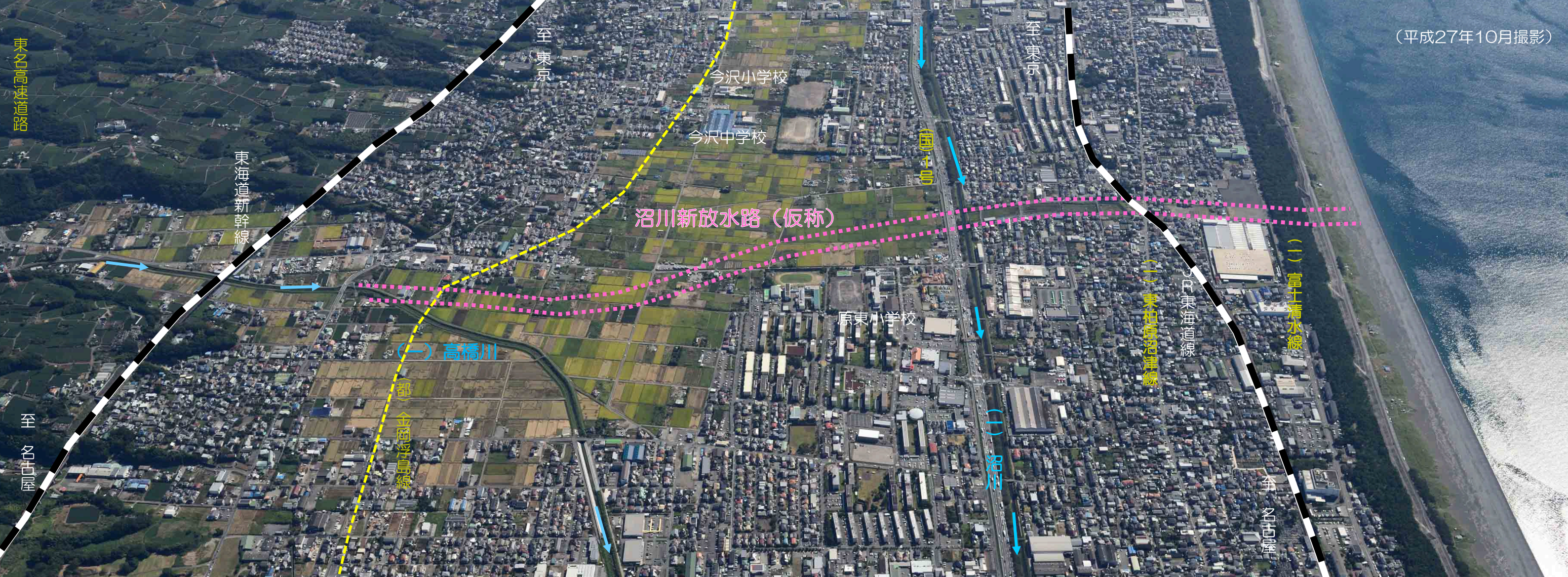


イメージキャラクター
なます君



【問合せ先】
 静岡県沼津土木事務所 沼川新放水路整備課
 〒410-0055 静岡県沼津市高島本町 1-3
 TEL 055-920-2129 FAX 055-926-5527
 E-mail numado-numakawa@pref.shizuoka.lg.jp
 HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/>
 （令和4年11月）



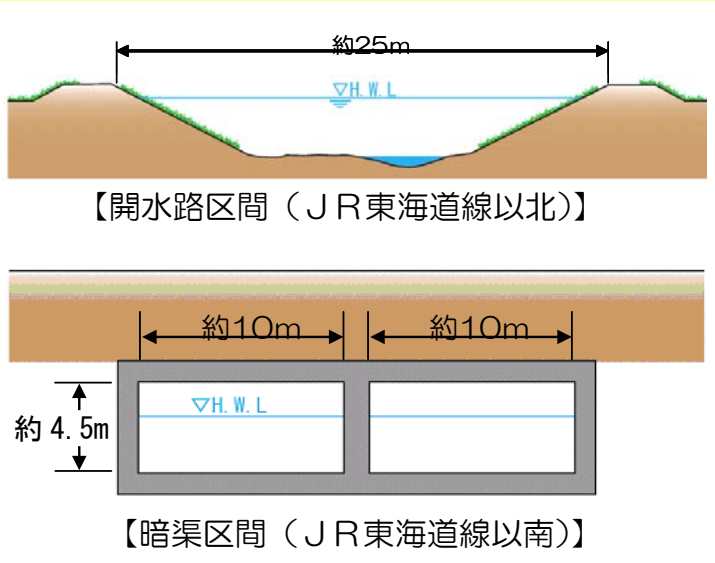
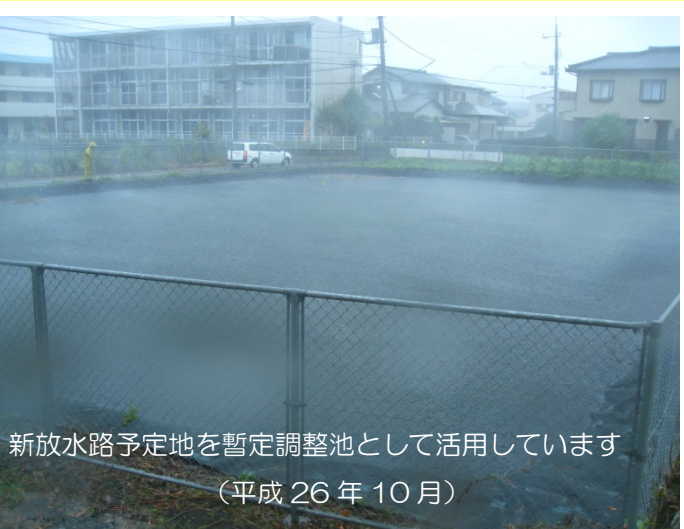
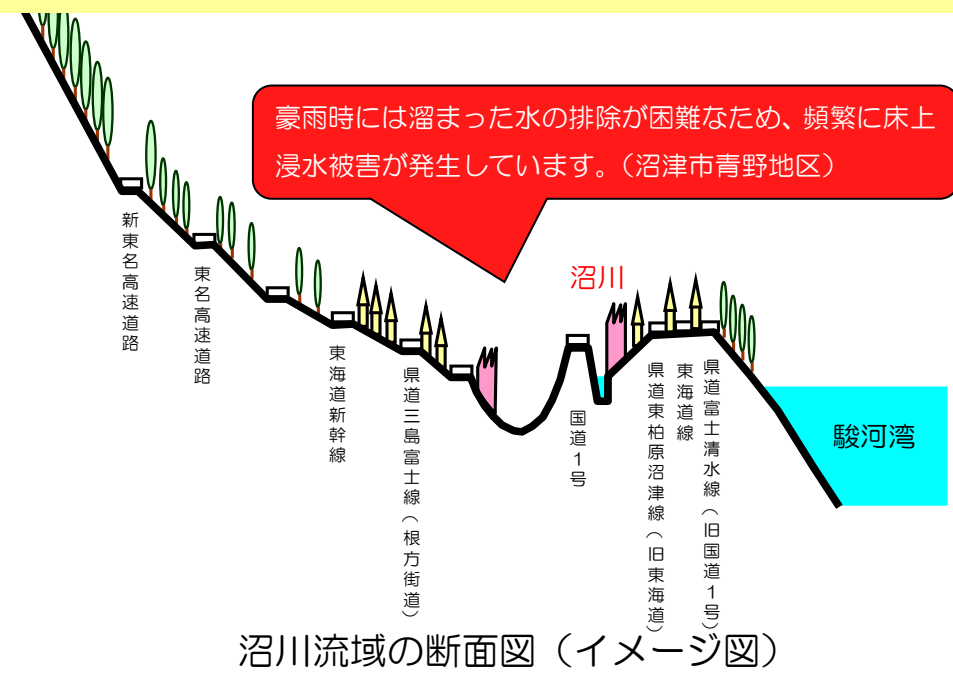


地域の明るい未来（沼川流域全体の治水安全度の向上）に向け事業を進めています。

沼川は河川延長 14.1 km流域面積約 206 km² の一級河川です。河床勾配は 1/1000~1/4000 と非常に緩い勾配であるため、大雨が降った際、洪水がスムーズに流下できず、昭和 49 年の七夕豪雨、昭和 51 年の豪雨では甚大な浸水被害が発生しました。近年では平成 19 年 7 月の豪雨や平成 26 年 10 月の台風 18 号により青野地区や西添町地区などで浸水被害が発生しています。

沼川新放水路は浸水常襲地帯だけでなく沼川流域全体の治水安全度の向上に寄与するものであり、沼川新放水路の早期完成に向けて地域のみなさまや関係機関とともに事業を進めていきます。

また、沼川新放水路は完成までに長期間を要する事業ですが、喫緊の課題に対応するため、平成 20 年には沼川（高橋川）流域豪雨災害対策アクションプランを策定し、高橋川の河道改修や公共施設における流域貯留浸透施設の設置など、沼津市とも連携し、様々な取組を実施しています。



沼川新放水路の横断図（イメージ図）

洪水時の状況